

利根圏域における病床整備計画の再検討について

1 再検討に当たっての課題

- 埼玉県済生会栗橋病院が久喜市から加須市へ移転することが予定されており、こうした状況を踏まえて医療機能を検討する必要がある。
- ICU、HUC等の高度急性期機能を有する病床数が相対的に少ないことを踏まえて医療機能を検討する必要がある。

2 再検討に当たっての視点

○周産期機能

地域のニーズが高く、医療従事者の確保見込み等を確認し、優先して検討する。（羽生総合病院）

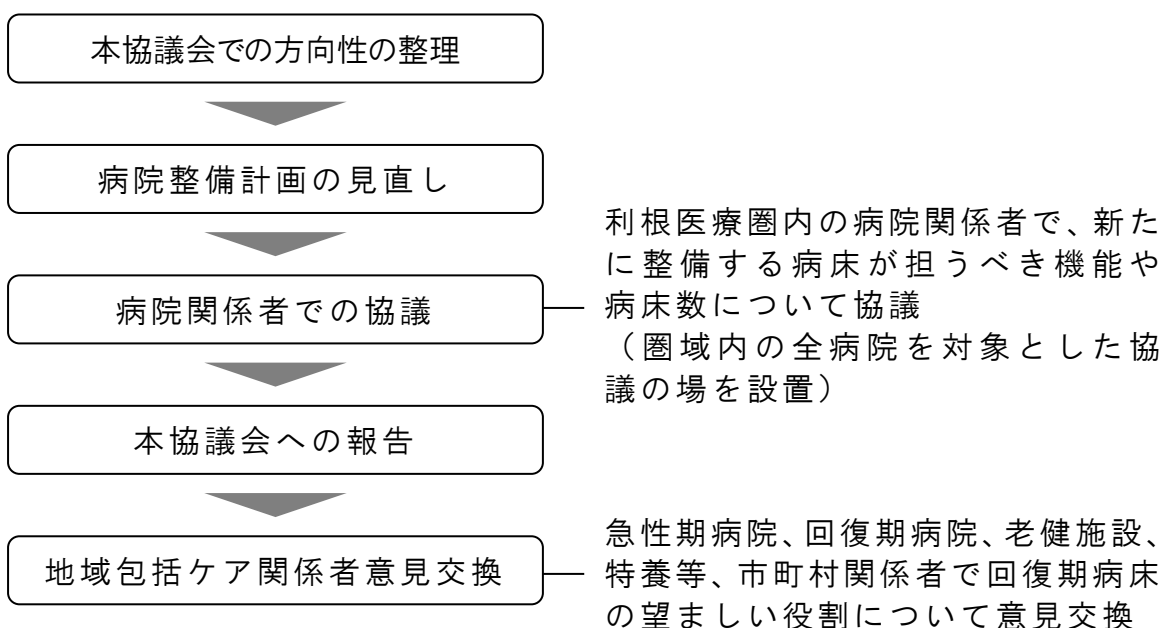
○高度急性期機能

利根（南）医療圏において、ICU等の高度急性期機能を中心とした病床の整備を検討する。（新久喜総合病院）

○ポストアキュート機能

利根（北）医療圏において、高度急性期・急性期治療を経過した患者（ポストアキュート）の受入を中心とした病床の整備を検討する。（羽生総合病院）

3 再検討の流れ



【継続協議に係る病院整備計画】

病院名	計画地	計画病床数	主な機能
新久喜総合病院	久喜市	150床 100床 50床	がん、脳卒中、心血管疾患、救急 回復期リハビリテーション
羽生総合病院	羽生市	130床 10床 5床 15床 100床	救急 緩和ケア 周産期 回復期リハビリテーション
パーク病院	白岡市	20床	在宅療養支援
東埼玉総合病院	幸手市	16床	地域包括ケア
	計	316床	